

ながと日記 ばーと10

長門市長 松林正俊

図書館へ行ってみよう



先日、久しぶりに図書館に行ってみました。土曜日の昼下がりのせい、私服の高校生や子供連れのおかあさんの姿など、かなりの人たちが思い思いに時を過ごされています。ビデオを観たり、雑誌や書籍を読んだり、子供たちには絵本を読んでもよかったです。静かでもなく騒がしくもなくと云ったところでしょうか。

私も何とはなしに『川端康成全集』を手にし、『伊豆の踊子』、『雪国』など遠い昔に読んだ作品をたどりながら、ページをめくっていました。

「国境の長いトンネルを抜けると、雪国であった。」で始まる『雪国』は、云うまでもなく川端康成の代表作ですが、さわりを読んでいるうちに知らず知らず入り込み、気が付いたら椅子に座って没頭していました。主人公と芸者・駒子との大人の恋の物語が、年齢によってこんなに感じ方、捉え方が違うものかと読み耽ってしまいました。

雪国という閉ざされた世界での、研ぎ澄まされた感性と死生観を見事に表現した作品ですが、恋愛小説がこのように深い余韻を残して終わるのは、いつ頃の誰からだろう・・・、近松作品が実らぬ恋の行く末を心中というかたちをとるのは、封建社会のゆえなのか・・・

どのくらいの時間がたったのでしょうか、ふと騒音が耳に障り現実を引き戻されました。傍らに目をやると、私服の高校生が机に腰掛け雑談をしているではないですか。私は思わず「君たち行儀よくしろ」と注意しますと、やおら立ち上がり、私に向かって一礼して静かに机に向かい直したのです。私はホッとするとともに、なんだか嬉しくなりました。

そうです、彼らは素直なのです。そして大人はためらわず、間違ったことは注意をしてやらなければいけないのです。

と教えられた、図書館の1日でした。

春の交通安全街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動スタートの4月6日、街頭キャンペーンが長門警察署近くの国道191号線交差点で行われました。

各種団体や事業所のほかガールスカウト23人も参加、車が信号で停止するたびに、子供や高齢者の事故防止、シートベルト・チャイルドシート着用を訴えるチラシやティッシュ、ガールスカウト手作りのこいのぼりのマスコットなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。



訓練の成果を競う

長門地区消防操法大会

消防操法の技を競うことにより、消防技術の向上と士気の高揚を図る、長門地区消防操法大会が4月8日、ルネッサなごと駐車場横広場で行われました。

大会には、長門市・大津郡から消防団の部に11チーム、婦人の部に6チームが参加、日頃の訓練の成果を競いました。競技の結果、消防団の部では日置町第3分団A、婦人の部では長門市通婦人防火隊が優勝しました。

なお、山口県消防操法大会



(10月予定・山口市)に深川南分団第3部隊が参加する予定です。